

貸出金残高過去最高

大垣西濃信金、3347億円

3月期

大垣西濃信用金庫(大垣市恵比寿町)が14日発表した2018年3月期決算は、地方公共団体への貸し出しが伸び、期末貸出金残高が前期比0・5%増の3347億円と、期末預金残高とともに過去最高となった。一方、日銀のマイナス

金利政策の影響で貸し出し利ざやが縮小し純利益は29・7%減の6億6200万円。減益は16年の合併後は2期連続。期末預金残高は普通預金など流動性預金が増え0・5%増の7409億円。本業の収益力を示す実質業務

純益は、低金利の長期継続に伴う貸し出し利ざやの縮小で19・6%減の8億7900万円だった。

金融再生法ベースの不良債権比率は0・7%改善し5・10%。財務の健全性を示す自己資本比率は0・18%減の13・83%となった。

19年3月期は店舗の統廃合などで経費節減を進めるが減益予想。